

# 都市計画道路長尾杉線 事業認可説明会

枚方市

土木部 道路河川整備課

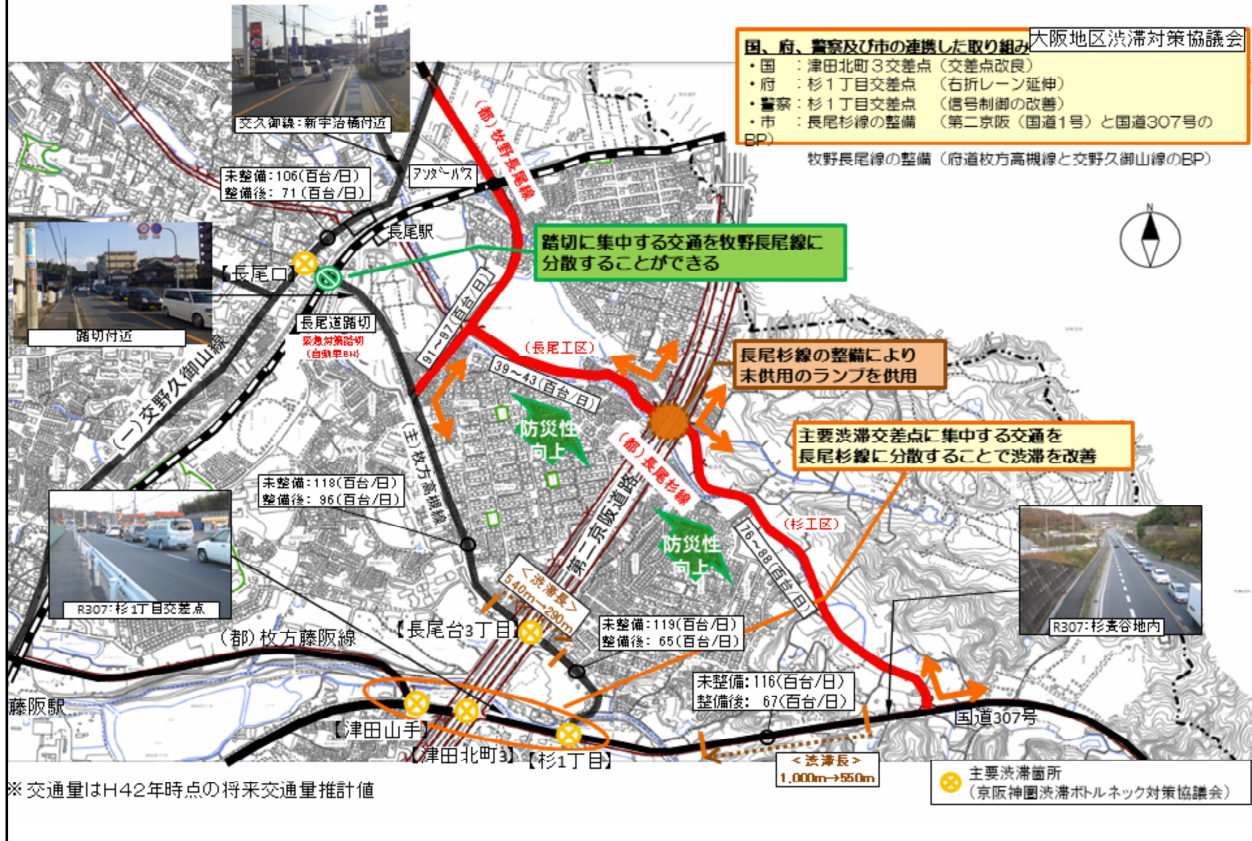
令和2年3月11日 水曜日

## 本日の説明次第

---

1. 事業計画の概要について
2. 事業認可について
3. 今後のスケジュールについて

## 【事業計画の概要】



### ●事業計画

●枚方市の東部地域では複数の交通渋滞に関する問題を抱えている。

特に、第二京阪道路と国道307号が交差する付近、津田山手、津田北町3、杉1丁目の各交差点は京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会が選定する主要渋滞箇所となっている。

●それと連動して、第二京阪道路と枚方高槻線が交差する、長尾台3丁目交差点でも交通渋滞が頻発する。

●長尾駅周辺に関しましても、踏切を要因とした慢性的な交通渋滞が発生する。

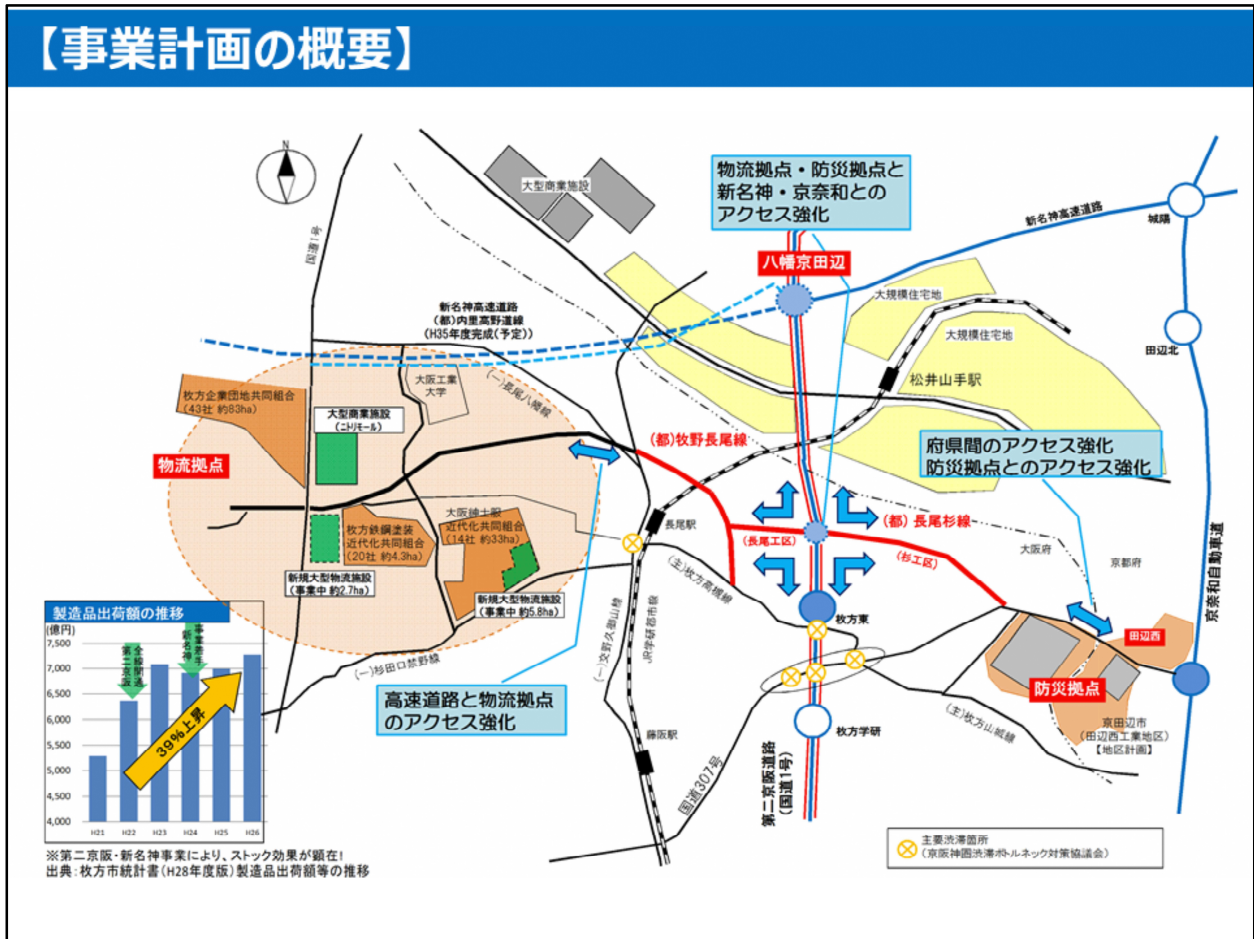
●慢性的な渋滞の解消について、地域の方からの要望を受け、交通渋滞の抜本的な対策の1つとして、平成29年3月10日に都市計画決定した都市計画道路長尾杉線の整備を行う。

●整備をすることによる効果は大きく分けて3つ。

●1つ目、「東部地域の道路交通網の強化」がされ、渋滞の緩和に繋がる。

●2つ目、災害時における緊急輸送ルート確保や地域住民の避難経路が確保され、「東部地域の防災性の向上」に繋がる。

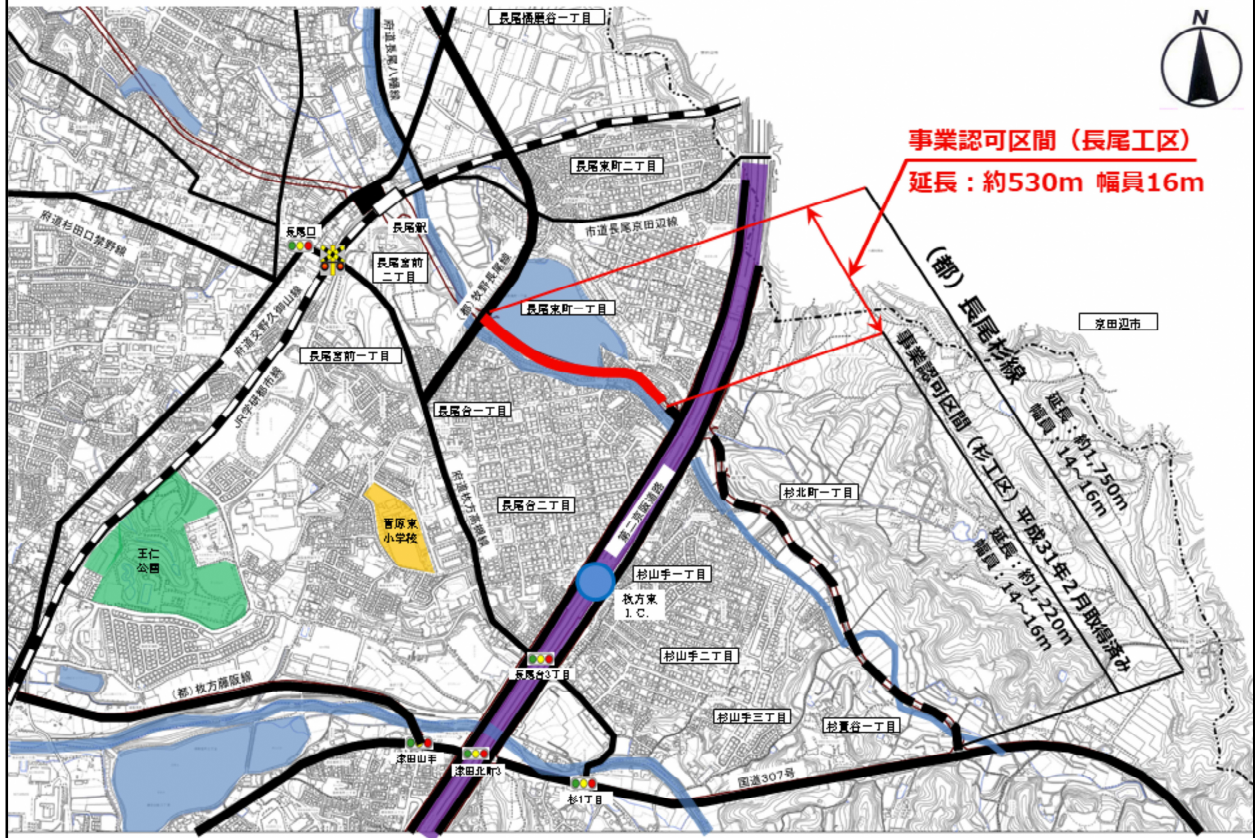
# 【事業計画の概要】



● 3つ目、第二京阪道路、新名神高速道路、京奈和自動車道などの各高速道路及び幹線道路へのアクセス機能強化により、「東部地域の利便性の向上」。

● 整備の結果、東部地域全体から、防災拠点である東部公園へのアクセス性向上の強化がされる他、大型商業施設等の物流拠点へのアクセスの向上も見込まれる。

## 【事業計画の概要】



### ●ルート説明

●都市計画道路長尾杉線は、現在整備中の都市計画道路牧野長尾線を起点とし、長尾大池の南西端から第二京阪道路の既設ランプを經由し、国道307号を終点としており、延長が約1,750mの道路。

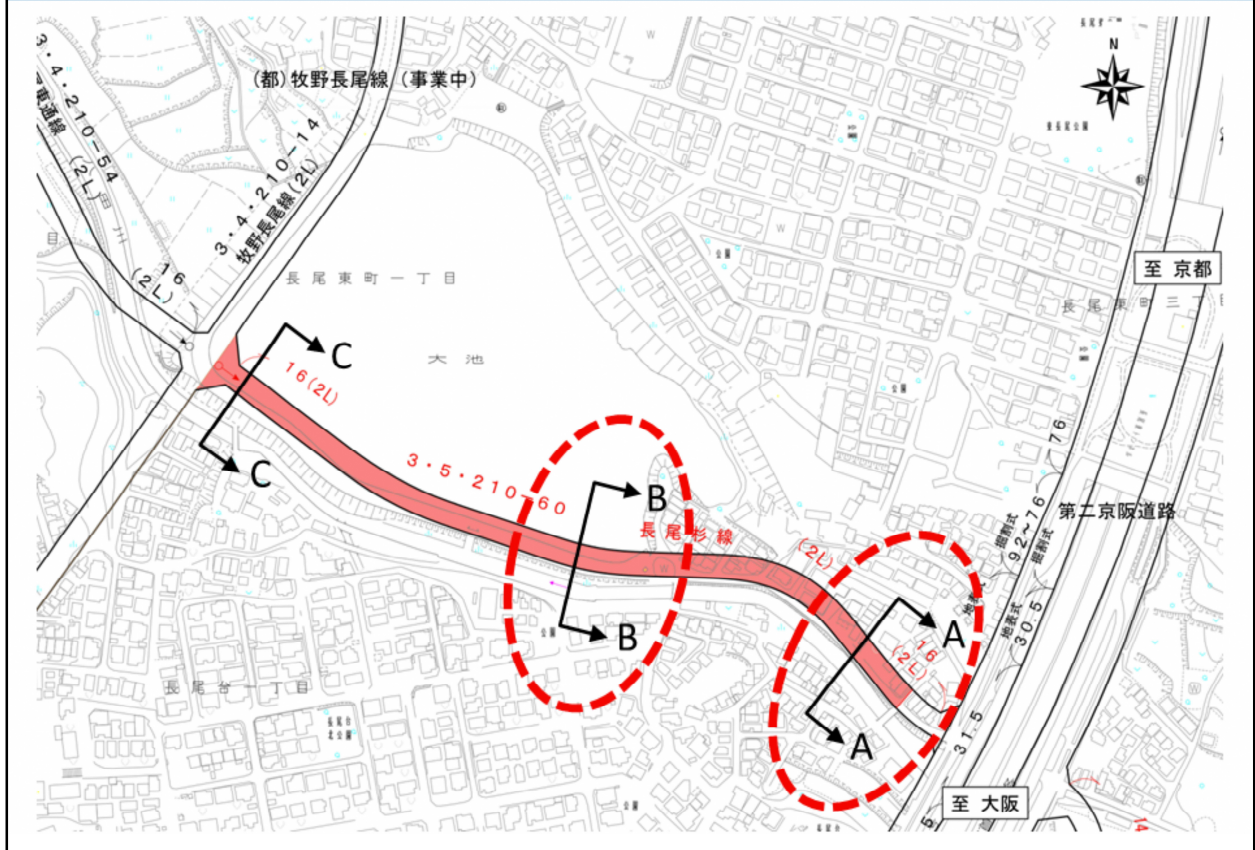
●道路の幅員は、第二京阪道路の東側で14mで、西側で16m。

●今回、事業認可を取得した区間が引き出し線に表示されている長尾工区で延長が約530m。

長尾工区は長尾東町1丁目地内の長尾大池南西端から長尾東町3丁目地内。

本件認可区間より西側の国道307号までの1,220mの杉工区については、平成31年2月に認可を取得済み。

## 【事業計画の概要】



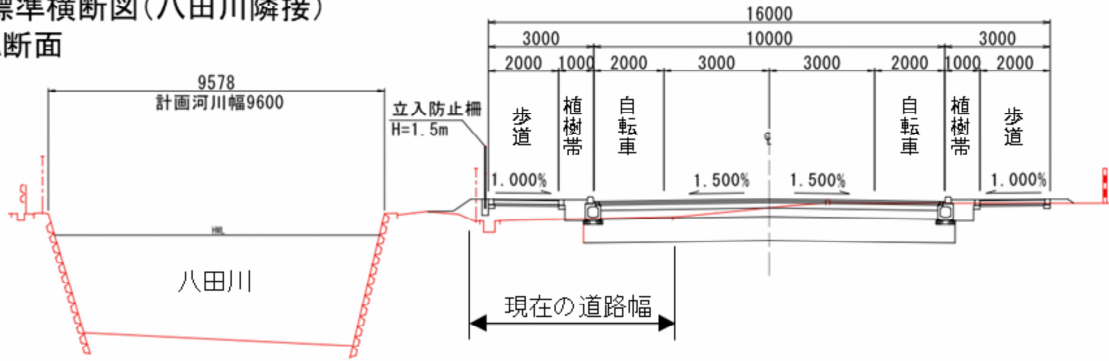
●道路の構造について

●代表的な断面構成に関して、A、B、Cの3箇所を説明。

## 【事業計画の概要】

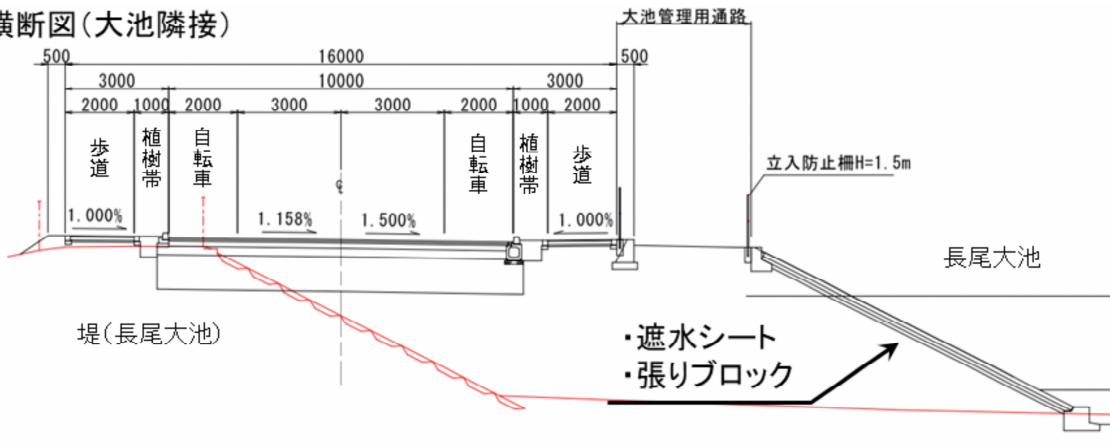
標準横断面図(八田川隣接)

A断面



標準横断面図(大池隣接)

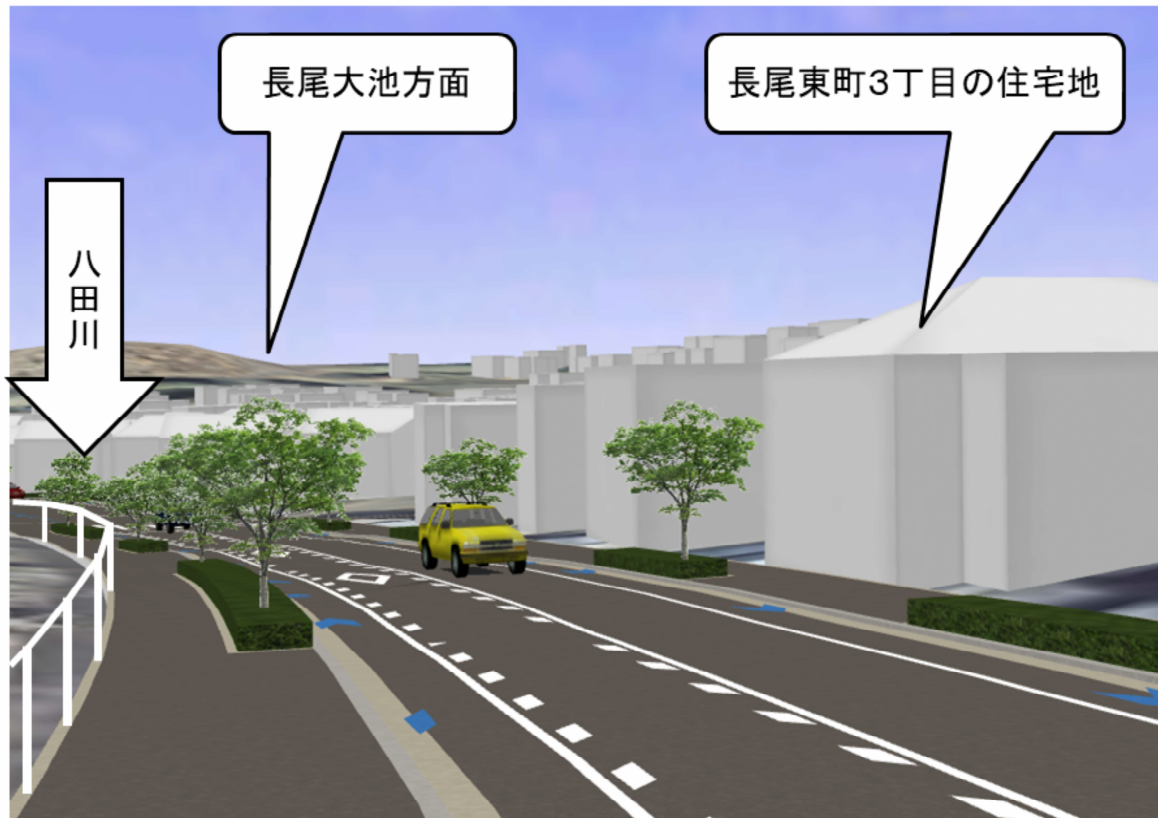
B断面



※図中の黒色のラインは整備する道路の計画を示しており、赤色のラインは現在の構造物を示したものです。

- 道路中央に長尾駅方面と杉方面行への車道をそれぞれ幅3m整備。
- 車道外側には幅2mの自転車通行空間を整備し、自転車マーク等の路面標示を行う予定。これにより、歩行者と自転車の通行空間の分離を促す。
- 自転車通行空間の外側に幅1mの植樹帯と幅2mの歩道の整備を行う。
- 車道、自転車通行空間、植樹帯、歩道を合わせて、全幅16mの道路となります。
- 大池側の歩道の外側には、大池の管理用通路(幅員4m)を整備。管理用通路は一般車が進入できないようにガードレールまたは進入防止柵を設置し、一般の道路区域と分離する。
- 既存の堤体は残したまま、大池の内側に新たな遮水シートや張りブロック設置し、新たな堤体を築造することで、堤防の上に道路に必要な幅を確保する。

## 【事業計画の概要】



●A地点のイメージ図(第二京阪道路側から長尾大池側を眺めたイメージ)

●画面左手が八田川、画面右手が長尾東町3丁目の住宅地。

※画像はイメージであり、樹木の選定や道路の区画線は、今後変更になる可能性がございます。